

事務連絡
令和6年3月13日

各都道府県消防主管部局
各指定都市消防局

} 御中

消防庁危険物保安室

「令和6年度危険物安全週間推進標語」の決定について

危険物行政の推進につきましては、かねてより特段のご配慮をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、消防庁では危険物を取り扱う関係事業所を始め、広く国民の皆さまに危険物の保安の確保を呼びかけるため、毎年6月の第2週（令和6年度は6月2日（日）から6月8日（土）までの予定）を、「危険物安全週間」とし、危険物の保安に対する意識の高揚及び啓発を全国的に推進しているところです。

この「危険物安全週間」を推進し、危険物事故の防止と危険物の貯蔵・取扱いの安全を呼びかけるため、令和6年度の標語を募集したところ、10,003点の応募があり、関係行政機関・学識経験者等による標語審査委員会の厳正な審査の結果下記の作品に決まりました（その他の入選作品は別紙のとおりです。）。

この標語は、日本人初の国際宇宙ステーション（ISS）船外活動や、3種類の宇宙船搭乗などのギネス世界記録を持つ野口 聡一氏がモデルとなる危険物安全週間を推進するポスターなどに活用されます。

つきましては、貴都道府県内の市町村等に周知していただき、危険物安全週間の推進事業をはじめ、様々な行事において広く活用されますようお願い申し上げます。

記

令和6年度危険物安全週間推進標語（最優秀作）

「次世代へ つなごう無事故と 青い地球」
ほし

令和6年度危険物安全週間推進標語入選作品

(敬称略)

○最優秀作 (消防庁長官賞と副賞20万円)

次世代へ つなごう無事故と 青い地球^{ほし} 青木 佑 (秋田県)

○優秀作 (全国危険物安全協会理事長賞と副賞10万円)

未来への 「きぼう」をつなげ 事故ゼロで！ 成澤 淑子 (宮城県)

○優良作 (記念品)

〈氏名 五十音順〉

正確な 手順を守り 防ぐ事故 和泉元 良彦 (愛媛県)

確実にミッションクリアでゼロ災害 植木 恭則 (新潟県)

抜かりない 準備とチェックで ゼロ災害 牛田 正行 (愛知県)

続けよう 無事故のミッション いつまでも 大久保 三重 (高知県)

危険物届け宇宙へ無事故の想い 北川 祐輝 (大阪府)

事故ゼロへ 知識と技術の ドッキング 古賀 栄吉 (茨城県)

全員で 取組むミッション 無災害 齋藤 恵美 (長野県)

安全を 軌道に乗せて ゼロ災害 徳永 良太 (鹿児島県)

事故ゼロで 笑顔と安全 守る日々 増本 智彦 (富山県)

事故ゼロへ重要ミッション保守点検 松田 海音 (東京都)

* 副賞と記念品は危険物安全週間推進協議会からお渡しします。